

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 20 年 1 月 24 日 (2008.1.24)

【公開番号】特開 2007-291236 (P2007-291236A)

【公開日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2007-043

【出願番号】特願 2006-120704 (P2006-120704)

【国際特許分類】

C 0 8 G 59/40 (2006.01)

C 0 8 J 5/24 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 59/40

C 0 8 J 5/24 C F C

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 12 月 4 日 (2007.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

エポキシ樹脂 (A) 100 重量部に対して、脂肪族ポリアミン、脂環族ポリアミン又は芳香族ポリアミンから選ばれるアミン系硬化剤 (B) を 25 ~ 50 重量部、融点が 150 以上の有機酸ジヒドラジド化合物 (C) を 1 ~ 20 重量部配合すると共に、ジシアンジアミドを含まない繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成する本発明の繊維強化複合材料用エポキシ樹脂組成物は、エポキシ樹脂 (A) 100 重量部に対して、脂肪族ポリアミン、脂環族ポリアミン又は芳香族ポリアミンから選ばれるアミン系硬化剤 (B) を 25 ~ 50 重量部、融点が 150 以上の有機酸ジヒドラジド化合物 (C) を 1 ~ 20 重量部配合すると共に、ジシアンジアミドを含まないことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

アミン系硬化剤 (B) は、脂肪族ポリアミン、脂環族ポリアミン又は芳香族ポリアミンから選ばれるものであり、好ましくは芳香族ポリアミンがよい。本発明において、アミン系硬化剤 (B) には、ジシアンジアミンは含まないものとする。芳香族ポリアミンとしては、ジアミノジフェニルスルホン、ジアミノジフェニルメタン、メタキシレンジアミン、メタフェニレンジアミン等が好ましく、とりわけジアミノジフェニルスルホンが硬化物の耐熱性を高める点から好ましい。